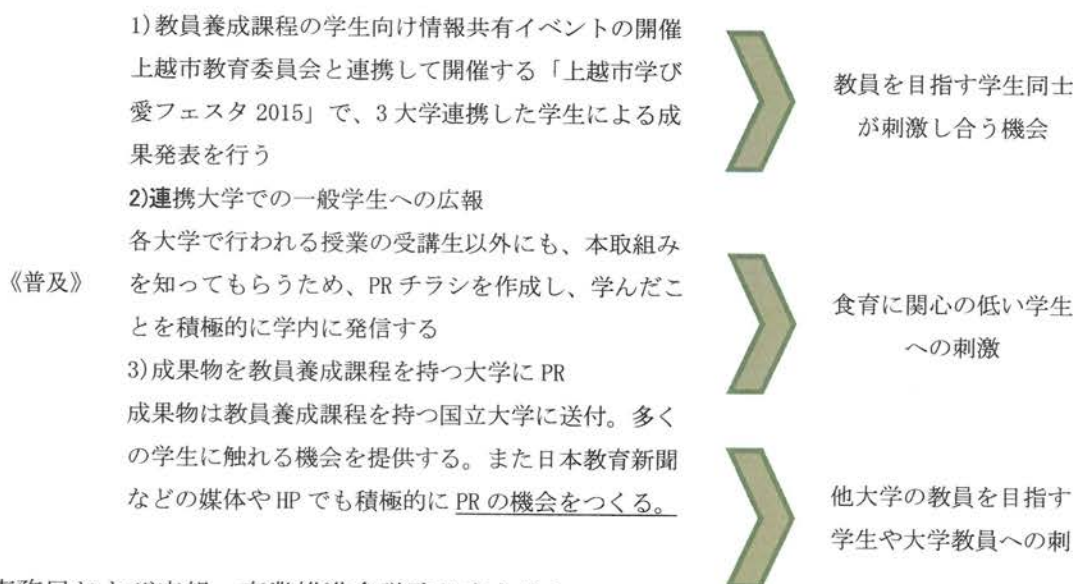
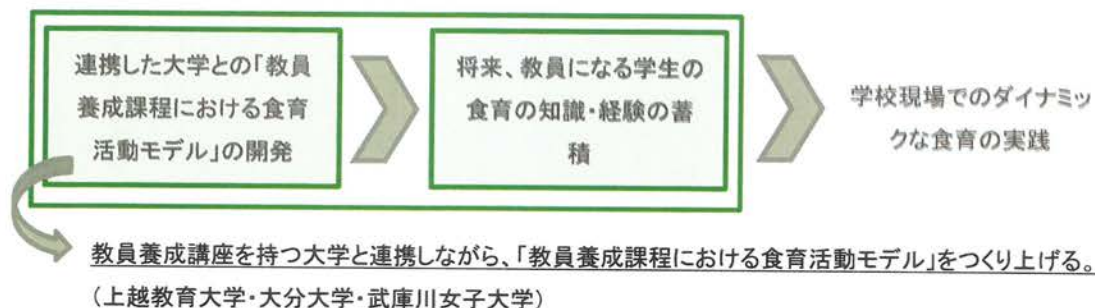


3. 業務実施フロー



<事務局および広報、事業推進会議取りまとめ>

■日本教育新聞社 吉岡淳也、菅原美有希

<各大学における取り組み>

- 上越教育大学 光永伸一郎 大学院学校教育研究科 教授
発酵食品を基盤とした食育活動プログラムの開発
- 大分大学 住田実 教育福祉科学部 教授
食農体験を中心にした食育活動プログラムの開発
- 武庫川女子大学 藤本勇二 幼児教育学科 講師
小学校現場で生かせる食育プログラムづくりとプログラム集の作成
(各大学の取り組み詳細は「2. 各大学における事業の実施」にて記載)

<主な事業スケジュール>

平成 27 年 4 月	第 1 回事業推進会議
	各大学での取り組み開始、プレアンケート実施
平成 27 年 5 月	各大学での取り組み本格化、
平成 27 年 7 月	第 2 回事業推進会議、チラシ・ポスターの学内などでの配付開始
平成 27 年 11 月	第 3 回事業推進会議、上越教育フォーラムでの PR
平成 28 年 1 月	ポストアンケートの実施
平成 28 年 2 月	アンケート結果の分析
平成 28 年 3 月	成果物制作・完成と配布、報告書作成・完成

Ⅱ．事業活動

1. 事業推進会議

それぞれ遠方に所在する3大学の教員と日本教育新聞社のスタッフ、成果物の編集・制作を担う株式会社エディットが集い、情報共有と意見交換、事業の円滑な進行を主な目的として開催するもの。合計4回開催した。

(1) 第1回事業推進会議

※当会議は、事業決定前に開催されており、経費としての計上は行っていない

①開催日時・場所

日時 平成27年4月13日(月) 13:30～16:30
場所 日本教育新聞社 大会議室(東京都港区虎ノ門1-2-8)

②参加者 光永 伸一郎(上越教育大学 教授)
住田 実(大分大学 教授)
藤本 勇二(武庫川女子大学 専任講師)
笠井 俊秀(日本教育新聞社局次長)
吉岡 淳也(日本教育新聞社部次長)
菅原 美有希(日本教育新聞社)

③概要

はじめに、吉岡より、当事業の趣旨説明及び事業主体としての意思表示を行った。次に、各教員に対して、事業進行のスケジュール及び経費についての一覧を4月17日までに提出してほしいこと、3月に成果物として発行する冊子への執筆依頼、学生の対応を含めた取材対応及び原稿制作への協力依頼、・必須項目達成のため、プレ・ポストアンケートへの協力依頼を説明した。

各教員から、アンケートの対象となる各大学の学生の属性について、説明があった。上越教育大学は「1.教員志望で農業体験した学生」「2.教員志望で講義だけの学生」「3.他学部で講義だけの学生」で検討している。大分大学は「1.教員志望で農業体験した学生」「2.教員志望ではない農業体験した学生」で検討している。武庫川女子大学は「1.教員志望で農業体験した学生」「2.教員志望で講義だけの学生」「3.他学部で(チラシ・ポスター等の)啓発だけの学生」で検討している。

また、各大学の講義で、大人数にアンケートを取る機会があれば、随時取るように依頼した。

アンケートの質問項目について検討を行った。各員の意見を集積し、農林水産省担当者(吉田恵美子氏)の確認を得た後、アンケートを開始する。